

# Mizuho Daily Market Report

2024/4/17

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	154.39	154.72	+0.44	+2.96
EUR	1.0618	1.0619	▲0.0005	▲0.0238
AUD	0.6418	0.6402	▲0.0040	▲0.0227
SGD	1.3648	1.3650	+0.0020	+0.0202
CNY	7.2396	7.2378	▲0.0003	+0.0055
MYR	4.7945	4.7957	+0.0157	+0.0479
THB	36.72	36.61	+0.00	+0.24
IDR	16172	16175	+330	+330
PHP	57.00	57.00	+0.18	+0.50
INR	83.52	83.54	+0.09	+0.22
VND	25277	25278	+102	+308

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.667%	+6.6 bp	+30.6 bp
日本(10年)	0.871%	+0.7 bp	+7.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.486%	+4.6 bp	+11.5 bp
オーストラリア(5年)	3.961%	+5.5 bp	+16.1 bp
シンガポール(5年)	3.330%	+4.4 bp	+14.6 bp
中国(5年)	2.119%	▲0.2 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.741%	+1.8 bp	+4.2 bp
タイ(5年)	2.370%	+0.0 bp	+7.9 bp
インドネシア(5年)	6.867%	+28.8 bp	+28.8 bp
フィリピン(5年)	6.728%	+9.2 bp	+40.3 bp
インド(5年)	7.192%	+2.1 bp	+6.6 bp
ベトナム(5年)	2.240%	+3.0 bp	+2.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,798.97	+0.2%	▲2.8%
N225(日本)	38,471.20	▲1.9%	▲3.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,916.99	▲1.4%	▲1.5%
ASX(オーストラリア)	4,260.41	▲1.8%	▲1.5%
FTSTI(シンガポール)	3,144.76	▲1.2%	▲2.9%
SSEC(中国)	3,007.07	▲1.6%	▲1.4%
SENSEX(インド)	72,943.68	▲0.6%	▲2.3%
JKSE(インドネシア)	7,164.81	▲1.7%	▲1.7%
KLSE(マレーシア)	1,535.00	▲0.5%	▲1.2%
PSE(フィリピン)	6,404.97	▲2.4%	▲5.0%
SETI(タイ)	1,396.38	+0.0%	▲0.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,215.68	▲0.1%	▲3.7%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	296.84	▲0.4%	+0.0%
金	2,382.89	▲0.0%	+1.3%
原油(WTI)	85.36	▲0.1%	+0.2%
銅	9,355.10	▲1.5%	+0.8%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	153.60	—	154.90
EUR/USD	1.0540	—	1.0750
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	36.98
USD/IDR	15830	—	16250
USD/PHP	55.90	—	57.10
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	24,600	—	25,350

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は154円台前半でオープン。朝方鈴木財務相による「為替の動き、しっかりと注視」との発言や、G20における日米韓財務相会合開催に関する報道があったが、市場の反応は限定的にとどまった。日中は日経平均が軟調に推移する中、ドル円は154円前半で上値重く推移した。東京時間クローズにかけて上昇し、結局154円台半ばでクローズ。アジア通貨は米利下げ観測の後退が引き続き圧迫要因となり下落。断食明け大祭で1週間休場となっていたインドネシアルピアが4年ぶりの安値に急落した。これを受け、インドネシア中央銀行は国内為替市場に介入した。

海外市場のドル円は154円台半ばNYオープン。NY朝方に発表された米3月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を下回るも、反応薄。続いてジェファソン・FRB副議長が「インフレが根強く続いた場合はより長期間の高金利維持が適切になる」との発言を受け、154円台後半まで上昇。その後、一時153円台後半まで急落する場面もあったが、その後米金利が再度上昇する展開を横目に154円台半ばまで戻す。午後はパウエルFRB議長が「最近のデータはインフレのさらなる進展が欠如している」、「インフレについて確信得るのにより長時間かかりそうだ」との認識を示すと、米短期金利が一時大台の5.00%を記録する等の米金利高の展開を受け、154円台後半まで続伸。その後は155円台での為替介入への警戒感から伸び悩み、154円台後半でクローズした。

## 【金利】

米債利回りは上昇。パウエルFRB議長発言から利下げ期待の後退を承認する主旨の発言があったほか、ジェファソン理事らからもインフレが高止まりするのであれば金利を“higher for longer”に維持するとのコメントも残されており、広い年限で売り優勢。米2年債は一時5%にタッチしており引き続き水準が意識されている。

## 【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。良好な米指標に加え、FRB高官からのインフレ高止まり懸念と利下げ期待後退発言により一段とドル買い優勢の流れが継続。節目の155円台を前に介入を警戒する動きはあるものの、ドルが強含む展開となりそうだ。

## 【本日の予定】

(日本) 3月 貿易収支  
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y  
(アジア) 1Q NZ CPI  
(アジア) 3月 NZ 非居住者 国債保有率  
(アジア) 3月 シンガポール 電子機器輸出 / 非石油地場輸出  
(アジア) 3月 豪 ウェストバック 景気先行指数  
(アジア) 休場 インド  
(欧州) 2月 愛 不動産価格  
(欧州) 2月 英 住宅価格指数  
(欧州) 3月 ユーロ圏 CPI(確)  
(欧州) 3月 英 CPI  
(欧州) 3月 英 PPI / 小売物価指数  
(欧州) EU臨時首脳会議(ブリュッセル)  
(欧州) G7外相会合(イタリア・カプリ島)  
(欧州) 独 国債入札(30Y)  
(米国) 2月 ネットTICフロー合計  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) ページブック  
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。